



【IsaVRd療法について】 (レブラミド+サークリサ+ペルケイド+デキサート)



様

コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

		めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	1日目							
薬の名前	作用																																																			
カロナール錠	アレルギー予防	1日1回 内服																																																		
ファモチジン注	アレルギー予防	15分																																																		
ボラミン注	アレルギー予防	15分																																																		
デキサート注	ステロイドです																																																			
デカドロン錠	ステロイドです	1日1回 内服																																																		
ペルケイド注	抗がん剤です	皮下注射																																																		
サークリサ注	抗がん剤です	3時間30分																																																		
レブラミドカプセル	抗がん剤です	1日1回 内服																																																		

*サークリサは2コース目以降、4コース目までは、2週間毎の投与になります。
*前立腺肥大症や閉塞隅角緑内障がある方はお知らせください。

😊 治療による副作用

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	1日目	
自覚症状	アレルギー様症状																																												
		発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																																											
	食欲不振・吐き気																																												
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																																											
	下痢																																												
		便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水のような便が出る時はお知らせ下さい。																																											
便秘																																													
	水分を多めに摂りましょう。続く場合はお薬で調節した方が良いので、お知らせ下さい。																																												
末梢神経障害																																													
	手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出ることがあります。																																												
検査値	白血球減少																																												
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいなどを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																																											
	赤血球減少(貧血)																																												
		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																																											
	血小板減少																																												
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																																												
腎機能低下																																													
	顔や手足のむくみ、尿が少ない・出ないなどの症状が出ることがあります。																																												
肝機能低下																																													
	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなるがあります。																																												

以下の副作用は、気づいたことがあればお知らせください。
●血栓・塞栓(足が腫れたり痛む、息苦しい、胸痛、片側のまひ、言葉がうまく出ない、気分が悪い、めまいなど)
●皮膚障害(発疹、かゆみなど)
●白内障(視力低下など)



*注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
*上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
*それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
*何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。
*自動車運転等を行わないよう注意が必要です。主治医の指示に従ってください。

広島市民病院薬剤部